



宮寺小だより

かしこく なかよく たくましく

令和8年度 第6号

10月1日 児童数197名

入間市立宮寺小学校

入間市宮寺594-1 電話2934-2014



きれいな ことば～自分の思いをしっかりと伝えよう～

宮寺小学校 校長 塩澤 榮一

人事院研修所（入間市宮寺）で初任行政フォローアップ研修に取り組む研修生のみ
なさんが公立小中学校視察研修の一環で来校されました。各省庁に勤務する3年目の
のみなさんが31名です。2・3時間目の短い時間の在校でしたが、宮寺小学校の子ども
ち・先生方がのんびりや宮寺小学校で現在取り組んでいる働き方改革・負担軽減の対策
などを話させていただきました。授業の様子を見ていただき、20分休みには子供たちのド
ッジボールや鬼ごっこに入って遊んでもらいました。そして、3時間目は5・6年生3クラス
を混合の4クラスに分け、それぞれの教室に分かれて入って、学び合いをしてもらいました。
それを終えた研修生のみなさんの言葉です。子供たちが自分の思いを伝えました。

子供たちとグループワークや遊びを行うこ
とで、新たな発見や気づきを得ることができ
た。子供たちが行事や授業などに目標を持
って取り組む姿勢は見習いたいと思えた。
子供たちにどんな仕事をしているか、なぜ、
その仕事をしているのかを聞かれた。業務の
意義、目的を考え直すきっかけとなった。

20分休みに子供たちが活発に遊んでいたのが
印象に残りました。自分が小学生のときも、確か
にそうしていたなと振り返る一方で、今の自分
は20分休めたらスマホを触るか寝るか、という
ところになるので、子供たちから元気をもらいま
した。放送が鳴った瞬間に走って教室に戻る姿
を見て、よくしつけられているなと感じました。

教職員間の風通しのよさや、ノー残業デー等の働き方
改革の取り組みにより、先生が子供と向き合うことに時間と
労力を割けているのではないかと感じた。子供たちに落ち
着きがあり、グループワークの際も発言が少ない子に意見を
聞いてあげるといった配慮が見られた点が印象に残った。
教職員が子供たちにきちんと向き合っているからこそ、
子供たちもこのような形で成長できているのだと感じた。



自分の思いを伝えました！

校長の学び 『今月の読書』



これもまた前に言ったように、ものを書くということは、決して容易ではないし、
かつてのように楽しくもない。電話がじゃんじゃん鳴る。ときどきわたしは頭痛
に、それもひどい頭痛に襲われ、薄暗い部屋に行って横になり、頭痛がおさまる
のを待たなければならないことがある。医者は本物の偏頭痛ではないと言う。
“ストレス頭痛”だと名づけ、仕事のペースを遅くしろとアドバイスする。

「スタンド・バイ・ミー」(スティーヴン・キング)

これまでの自分の読書で選んだ本とはちょっと異質の作品と出会いました。いろいろな作品
との出会い、まだまだ続けて楽しめます。